



時事評論家 増田俊男

言った通り！

昨日の本誌で、ギリシャの国民投票で IMF と欧州債権者グループのギリシャに対する支援条件にノー（拒否）回答が決まったことについて、債権者側のギリシャ支援は、ギリシャに緊縮財政を押し付け、少しでも自力で借金の返済をさせ、足りない部分を分割で支援するものであって決してギリシャの為の支援ではないという本当のところを述べた。

そして最後に株価について、ギリシャ国民投票の結果でニッケイも NY も大きく下げたが、前回 6 月 28 日ギリシャがトロイカ（欧州連合、ユーロ圏諸国、IMF）との最終合意の為の会議をボイコットして大きく下げた時は「一日天下」と私が述べた通り翌日からリバウンドが続いたが、今回も下げた翌日ニッケイは 270 円上昇したが「今後大きく下げるから買いはその後だ」と述べた。

チプラス首相（ギリシャ）と IMF と欧州債権者グループとの最終交渉は今週末日曜（12日）に決まったが、「ギリシャの財政を EU に統合する方向」で結論が出る。

ギリシャ財政が破綻するか、破綻一步手前で緊縮財政強行で浮いた資金で出来る限り自力で借金を返済しながら、不足分だけを支払い期日毎に分割で支援を受けることになるかどちらかになる。

いずれにしてもギリシャ問題の結論は来週中に出る。

どうだろうと「ギリシャ問題に結論が出ることは買い」である。

昨日に続き、ご参考まで。

ギリシャ問題に限らず市場にとって重要な事象の成り行きは適時「ここ一番！」で述べている。

増田俊男の「時事直言」ご協力金受付開始！

今年も読者の皆様へお願いする時期になりました。

今回の増田からのお礼（2口以上）は「最新レポート」の発信となります。しかも**発信は計2回**を予定しており**初回発信は7月末頃**を予定しているのでお早めにお申込みください。詳しいご案内、お申込みについては増田俊男事務所（Tel：03-3955-6686、HP：www.chokugen.com）まで。